

選ばれる葬祭会館へ 県JA葬祭事業運営協議会 総括会議で情報共有

最優秀賞を受賞した、やすらぎホールわかやなぎの代表者



県JA葬祭事業運営協議会は22日、女性スタッフと営業企画担当者の合同総括会議を、仙台市太白区で開いた。葬祭会館の清掃・美化状況、接客対応を競うクリリネス（衛生管理）コンテストの表彰式も行った。約40人が参加。女性スタッフミーティングに参加した3人と営業企画担当者が協議の参加者1人が活動成果を発表し、事前相談の充実や独自イベント実施など、選ばれる葬祭センターを目指して情報を共有した。

ライフサポートわたりの渡辺智子さんは「情報交換は、気づき、おもてなしの気配りを学ぶ場になった。長年お世話になった方々だけでなく、次世代の方々にも満足いただける葬儀を目指したい」と語った。

※写真は右から、葬祭センター千葉康樹さん、葬祭センター千田佳代さん

県JA葬祭事業
運営協議会
クリリネスコンテスト
【最優秀賞】
やすらぎホール
わかやなぎ
平成30年2月28日
(日本農業新聞掲載)

平成30年2月22日、県JA葬祭事業運営協議体は、仙台市太白区で合同総括会議を開催致しました。その際に、葬祭会館の清掃・美化状況、接客対応を競うクリリネス（衛生）コンテストの表彰式が行われ、宮城県内のJA葬祭ホールが熾烈な競争を繰り広げる中、見事に強豪他社を押し退けて、**やすらぎホールわかやなぎが最優秀賞を受賞しました。**

「お客様の笑顔のために」常に清潔な状態を保つ為に、ホールスタッフ一同日々心配り・配慮し続けた結果が認められたのだと思います。今後は王者として他の模範となって頂ければと思います。

